

国立歴史民俗博物館 研究報告

第7集 共同研究「古代の祭祀と信仰」 附篇

祭祀関係遺物出土地地名表

昭和60年3月

国立歴史民俗博物館

研究報告

第7集 共同研究「古代の祭祀と信仰」

附篇 祭祀関係遺物出土地地名表

*目次

凡例	13 東京都	222	26 京都府	390	39 高知県	672
1 北海道	14 神奈川県	234	27 大阪府	424	40 福岡県	682
2 青森県	15 新潟県	252	28 兵庫県	438	41 佐賀県	730
3 岩手県	16 富山県	258	29 奈良県	464	42 長崎県	750
4 宮城県	17 石川県	264	30 和歌山県	520	43 熊本県	762
5 秋田県	18 福井県	280	31 鳥取県	530	44 大分県	778
6 山形県	19 山梨県	284	32 島根県	548	45 宮崎県	788
7 福島県	20 長野県	286	33 岡山県	570	46 鹿児島県	794
8 茨城県	21 岐阜県	312	34 広島県	592	47 沖縄県	804
9 栃木県	22 静岡県	320	35 山口県	614		
10 群馬県	23 愛知県	354	36 徳島県	632		昭和60年3月
11 埼玉県	24 三重県	368	37 香川県	638		
12 千葉県	25 滋賀県	380	38 愛媛県	654		

凡 例

1. 本地名表は、昭和57年度に国立歴史民俗博物館が全国の研究者に依頼して実施した祭祀関係遺物出土地調査の成果をとりまとめ、都道府県単位の地名表として整理したものである。
2. 対象とした祭祀関係遺物は、弥生時代から奈良・平安時代までのものに限ったが、一部に12世紀以降のものを含む。
3. 古墳・墳墓及び寺院・経塚などの仏教関係遺跡の出土品は原則として除外したが、青銅製武器形祭器、子持勾玉、土馬などについては遺跡の種類にかかわらず収録している。
4. 祭祀関係遺物として扱う範囲については、それぞれ各府県の調査担当者の判断にゆだねた。したがって紡錘車、玉類、用途不明品や一部土器などの扱いについては統一を欠く。
5. 時期区分については、弥生時代・古墳時代ともそれぞれ前・中・後期の時期区分法を採用したが、その区分については調査担当者の判断にしたがった。伴出土器の型式区分についても同様である。
6. 遺跡の配列については、原則として旧国・郡あるいは京などの単位ごとにまとまるように配慮したため、一部に市町村単位となっていない部分がある。
7. 本表は昭和57年度の調査にもとづいているが、その後昭和59年12月末現在で知られたものは収録している。また一部にその後の新発見資料を追加した部分もある。
8. 本地名表の基礎となった祭祀関係遺物出土地調査を担当いただいた方々は、次頁の別表「祭祀関係遺物出土地調査担当者一覧」に示すとおりである。
9. 調査カードを地名表に整理する作業は、白石 太一郎の指示にもとづき主として大久保奈奈が担当し、春成秀爾・杉山晋作がこれを援助した。このほか車崎正彦、星龍象、藤井直子、平井由布子、伊藤靖恵、湯田 環、柳田能子、伊藤紫乃、井垣弘美の諸氏の協力をうけた。

祭祀関係遺物出土地調査担当者一覧 (敬称略)

1	北海道	藤本 英夫	13	東京都	大谷 猛	25	滋賀県	丸山 竜平	36	徳島県	天羽 利夫
2	青森県	木村鉄次郎	14	神奈川県	小川 裕久	26	京都府	高橋美久二	37	香川県	松本 敏三
3	岩手県	嶋 千秋			穴戸 信悟	27	大阪府	田代 克己	38	愛媛県	長井 数秋
4	宮城県	須藤 隆	15	新潟県	金子 拓男	28	兵庫県	山本 三郎	39	高知県	宅間 一之
5	秋田県	富樫 泰時	16	富山県	岸本 雅敏			大平 茂	40	福岡県	赤崎 敏男
6	山形県	佐々木洋治	17	石川県	小嶋 芳孝	29	奈良県	金子 裕之			弓場 紀知
7	福島県	辻 秀人	18	福井県	青木 豊昭			東 潮	41	佐賀県	森 醇一郎
8	茨城県	阿久津 久	19	山梨県	坂本 美夫	30	和歌山県	小賀 直樹	42	長崎県	正林 護
9	栃木県	橋本 澄朗	20	長野県	笹沢 浩	31	鳥取県	清水 真一	43	熊本県	富田 紘一
10	群馬県	桜場 一寿	21	岐阜県	波多野寿勝	32	島根県	松本 岩雄	44	大分県	真野 和夫
11	埼玉県	塩野 博	22	静岡県	辰巳 和弘	33	岡山県	伊藤 晃	45	宮崎県	茂山 護
		杉崎 茂樹	23	愛知県	安達 厚三	34	広島県	福井 万千	46	鹿児島県	新東 晃一
12	千葉県	杉山 晋作	24	三重県	伊藤 久嗣	35	山口県	中村 徹也	47	沖縄県	知念 勇

奈良県については主として金子裕之が藤原・平城京域を、東潮がその他の地域を担当、福岡県については弓場紀知が沖ノ島関係を、赤崎敏男がその他の地域を担当した。

国立歴史民俗博物館研究報告 第7集 附篇

昭和60年3月25日 印刷

昭和60年3月30日 発行 (非売品)

編集・発行 国立歴史民俗博物館

〒285 千葉県佐倉市城内町117

電話 0434-86-0123 (代表)

印刷 第一法規出版株式会社

〒107 東京都港区南青山2-11-17

電話 03-404-2251 (代表)

Bulletin of the National Museum of Japanese History

vol. 7 Joint Study of Ancient Religion
and Worship in Japan

Table: Relics Excavated at Ancient Ritual Sites

Mar. 1985